

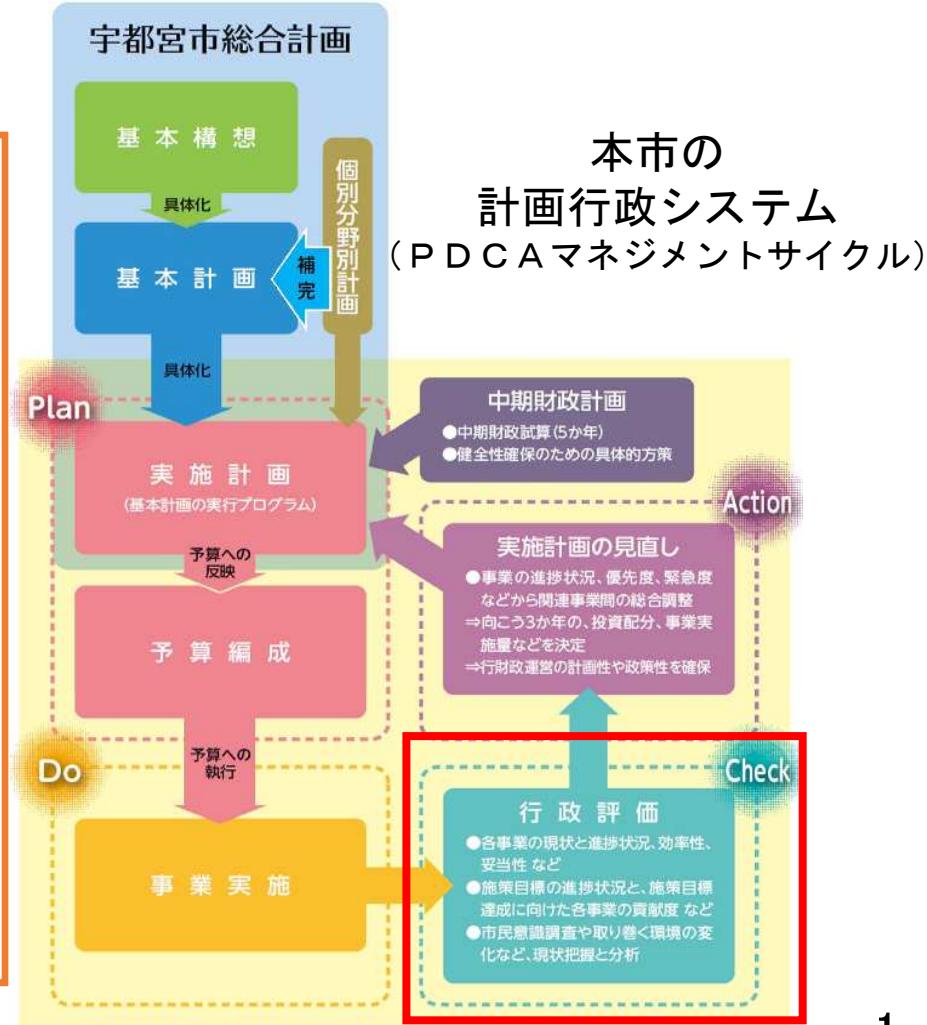
令和6年度「行政評価」を実施し、 市民サービスの更なる向上に取り組んでいます。

本市では、「第6次宇都宮市総合計画」を着実に推進するため、「PDCA（※）」のマネジメントサイクルを実施しており、この度、後期基本計画の初年度である令和5年度に実施した施策・事業の「行政評価」の結果をとりまとめました。

今回の評価結果については、昨年度に実施した施策において、全てが「順調」または、「概ね順調」に進捗しております。

今後とも、「スーパースマートシティ」の実現を目指し、今回の評価結果等を活用し、総合計画後期基本計画（令和5～9年度）を推進し、各施策・事業の効果を高めてまいります。

※ Plan(各種計画等の策定)－Do(事業の実施)－Check(行政評価)－Action(事業の見直し等)



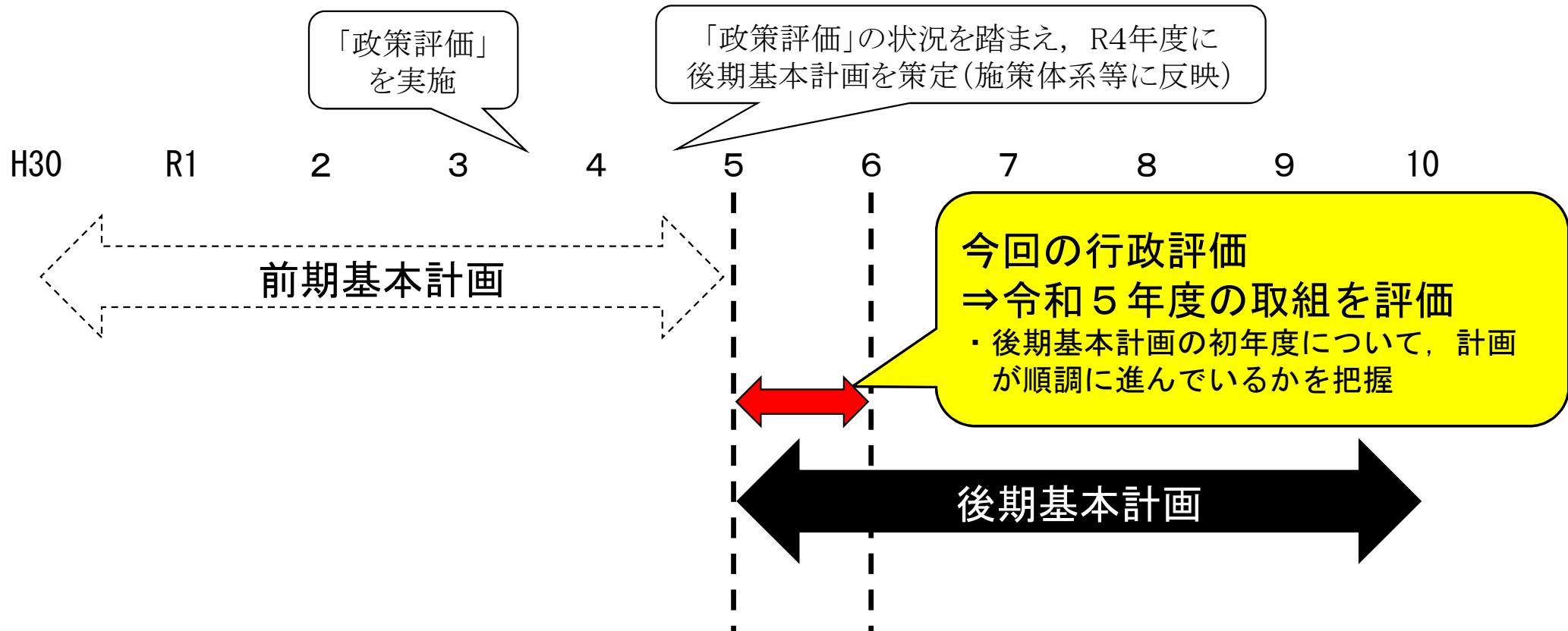
1 本市の行政評価の概要

「第6次宇都宮市総合計画後期基本計画」（以下、「基本計画」という。）で掲げた長期的な目標の達成度を包括的・体系的に評価するため、行政評価は、「政策評価」「施策評価」「事業評価」の3階層で構成する。

評価の種類	概 要
政策評価 (5年に1度実施)	基本計画の政策体系に基づき、計画に掲げた政策の目標の達成度や施策の進捗状況などに基づき、評価を実施し、今後の政策の方向性を検討するもの（令和3年度に実施済）
施策評価 (毎年実施)	政策に連なる各施策について、施策の進捗状況や市民満足度の推移などを踏まえて、施策の課題抽出や今後の方向性を検討するもの
事業評価 (毎年実施)	各事業について、施策目標を達成するために何が有効であるかという視点から、今後の取組方針を検討するもの

今回実施した行政評価

2 「総合計画」の計画期間と「行政評価」について



3 「施策評価」の評価方法

- 各施策について、下記①～④の4つの評価指標に基づいて多角的・総合的な評価を実施
- 評価は、点数化による定量的な評価によって客観性を確保
- 「基本計画」の体系に基づき、「令和5年度」に実施した事業を対象として、評価を実施

＜評価指標の概要＞

評価指標	概 要
①産出指標の達成度	「基本計画」に掲げる施策指標の達成度を評価
②成果指標の達成度	市民意識調査結果において、各施策の満足度について「満足」又は「やや満足」と回答があった割合（市民満足度）の推移を評価
③市民満足度の推移	「基本計画」の「まちづくり好循環プロジェクト」や戦略事業に該当する事業などから、主要な構成事業として選択した事業の進捗状況を評価

【評価基準】

施策指標（産出指標、成果指標）、市民満足度、主要な構成事業の進捗状況の4つの指標をもとに100点満点で点数化し、総合評価を導出

配点	25点	20点	15点
①産出指標の達成度	A 100%以上	B 70%以上100%未満	C 70%未満
②成果指標の達成度	A 100%以上	B 70%以上100%未満	C 70%未満
③市民満足度の推移	A 基準値+5ポイント以上	B 基準値±5ポイント未満	C 基準値-5ポイント以下
④主要な構成事業の進捗状況	A 2事業以上が「計画以上」	B 主に4事業以上が「計画どおり」	C 2事業以上が「計画より遅れ」
総合評価	順調(90点以上)	概ね順調(75点以上90点未満)	やや遅れ(75点未満)

4 「施策評価」結果の総括（詳細は別添「施策評価の結果一覧」・「行政評価（カルテ）の結果」を参照）

ア 進捗状況

評価区分	R 6 施策数(割合)
順 調	2 1 (39. 6%)
概ね順調	3 2 (60. 4%)
やや遅れ	0 (0. 0%)
計	5 3 (100. 0%)

【結果の概況】

5 3 施策のうち、「順調」が 2 1 施策 (39. 6%) , 「概ね順調」が 3 2 施策 (60. 4%) となっており、全施策が「概ね順調」以上の評価となっている。

令和6年度「行政評価」の結果について

イ 各施策の総合評価の状況

柱	政策	進捗	政策を構成する施策	柱	政策	進捗	政策を構成する施策
子育て・教育	全ての子どもが安心して健やかに成長できる社会の実現		1 結婚や妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実	I	誰もが生涯を通じてスポーツを楽しむ社会の実現		1 生涯にわたるスポーツ活動の推進
			2 子育て支援の充実				
		◎	3 子ども・若者の健全育成環境の充実				
			4 子どもを守り育てる支援の充実				
	誰もが夢や希望を持ち必要な教育を享受できる社会の実現		1 新たな時代に必要となる資質・能力の育成	II 健康・福祉	誰もが心身ともに健康に生活できる社会の実現		1 健康づくりの推進
			2 誰もが生き生きと学ぶ学校教育の推進			◎	2 感染症対策の推進
			3 児童生徒の学びと教職員を支える学校教育環境の充実			◎	3 安心して医療を受けられる環境の充実
		◎	4 学校・家庭・地域が相互に連携・協働した教育活動の充実			◎	1 安心して暮らせる福祉基盤の充実
		◎	5 生涯にわたる学習活動の促進			◎	2 高齢期の生活の充実
						◎	3 障がいのある人の生活の充実
							4 共に支え合う地域づくりの推進

順調…◎

概ね順調…上記以外のもの

令和6年度「行政評価」の結果について

柱	政策	進捗	政策を構成する施策	柱	政策	進捗	政策を構成する施策
Ⅲ 安全・安心	誰もが安全・安心に日常生活を送ることができる社会の実現	◎	1 危機に対する体制・都市基盤の強化	Ⅳ 魅力創造・交流	地域資源を守り、活用した賑わいと活力ある社会の実現	◎	1 個性豊かな観光と交流の創出
			2 総合的な治水・雨水対策の推進				2 MICEの推進による魅力と交流の創出
			3 消防・救急体制の充実				3 スポーツを通じた都市の魅力向上・地域活性化
			4 日常生活の安心感の向上				4 暮らしに息づく文化の継承・創造・活用の推進
			5 快適で衛生的な生活環境の確保				
	市民が互いに尊重し、支え合う社会の実現	◎	1 地域主体の協働によるまちづくりの推進		着実な定住の促進や移住・関係人口の増加による持続可能な地域社会の実現	◎	1 都市ブランド戦略の推進
			2 市政への理解と参画の促進				2 移住定住支援の充実
			3 かけがえのない個人の尊重			◎	
			4 男女共同参画の推進				
			5 多文化共生の推進				
Ⅴ 産業・環境	各種産業の強みを生かした持続的に発展する社会の実現	◎	1 地域産業の創造性・発展性の向上	Ⅴ 産業・環境	各種産業の強みを生かした持続的に発展する社会の実現	◎	2 商工・サービス業の活力の向上
			2 商工・サービス業の活力の向上				3 農林業の生産力・販売力・地域力の向上

令和6年度「行政評価」の結果について



柱	政策	進捗	政策を構成する施策
V 産業・環境	脱炭素で循環型、自然共生社会の実現		1 環境配慮行動の推進
			2 脱炭素化の推進
			3 ごみの減量化・資源化と適正処理の推進
			4 自然との共生の推進
VI 交通	魅力的で持続可能な都市空間の形成	◎	1 地域特性を生かした安全で魅力ある都市空間の形成
			2 安心で快適な住まいづくりの促進
		◎	3 空き家・空き地対策の推進
			4 緑豊かで魅力ある都市景観の保全・創出
			5 質の高い上下水道サービスの提供

柱	政策	進捗	政策を構成する施策
VI 交通	誰もが快適に移動できる総合的な交通ネットワークの実現	◎	1 公共交通ネットワークの充実・強化
			2 公共交通の利便性向上と利用促進
			3 円滑、快適、安全・安心な道路づくりの推進
			4 「自転車のまち宇都宮」の推進
行政経営基盤	持続可能な公共的サービスの提供体制の確立		1 新たなニーズに対応できる持続可能な行政経営の推進
			2 地区行政の推進
			3 行政の組織マネジメント力の向上
		◎	4 財政基盤の更なる強化

【総合評価が最高点だった施策の要因】（3施策：総合評価95点）

施策名	「順調」となっている要因
安心して暮らせる福祉基盤の充実	<p>【成果指標】「共生型の相談窓口で受け止めた相談が支援につながった割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保健と福祉のまるごと相談窓口エールU（以下、「エールU」という。）において受け止めた全ての相談を、その内容に応じて、各専門分野の相談支援機関や支援策の検討などを担う多機関協働事業者につなげることができたため。 (※R5目標値:100%⇒R5実績値:100%) <p>【市民満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エールUの開設や、生活困窮世帯の自立に向けた相談支援窓口の設置など、各種相談窓口の充実により、満足度が向上したと考えられる。 (※R4基準値:28.6%⇒R5実績値:40.1%) <p>【主要な構成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相談支援事業 エールUの設置により、保健と福祉に関する相談を受け止め、内容に応じて適切な専門の相談支援機関や多機関協働事業者につなぐ体制を構築した。 ● 多機関協働事業 8050問題やひきこもりなど複雑・複合化した問題があるケースに対して、課題の解きほぐしや調整、多分野の関係機関をマネジメントし、関係機関と連携した支援を行うことができた。

施策名	「順調」となっている要因
高齢期の生活の充実	<p>【成果指標】「ほぼ毎日外出している高齢者の割合」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ライトライン開業を契機として、高齢者外出支援事業の利用が増加し、高齢者の外出機会の増加に寄与したものと考えられる。 (※R5目標値:33.5%⇒R5実績値:34.6%) <p>【市民満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エールUの開設をはじめ、「認知症事故救済制度」の創設や「宇都宮市成年後見支援センター」の設置など、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる事業の新たな展開により、満足度が向上したと考えられる。 (※R4基準値:28.2%⇒R5実績値:33.5%) <p>【主要な構成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者外出支援事業 ライトラインにおいて、新たに福祉ポイントが利用可能となったことから、交通系ICカードを活用した高齢者外出支援事業の円滑な実施に努めることにより、高齢者の更なる外出の促進や健康づくりの推進を図った。 ● 成年後見制度利用促進事業 「宇都宮市成年後見支援センター」を令和5年10月に設置し、自身による契約や財産の管理等に不安のある方が安心して生活できるよう支援体制を強化した。

施策名	「順調」となっている要因
地域特性を 生かした 安全で魅力ある 都市空間の形成	<p>【成果指標】都市拠点・地域拠点に誘導する生活利便施設の充足状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各拠点への都市機能・居住の誘導や、人を中心の居心地の良いウォーカブルな空間づくりに向けた民間開発の誘導において、各種支援策を積極的に周知してきたことから、拠点内の充足率が増加していると考えられる。 (※R5目標値:85.2%⇒R5実績値:85.6%) <p>【市民満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J R 宇都宮駅東口の交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」の開館といった駅東口地区のまちびらきや駅東側のライトラインの開業といった魅力ある都市空間の形成が目に見える形で表れていることから、満足度が向上したと考えられる。 (※R4基準値:35.5%⇒R5実績値:45.0%) <p>【主要な構成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 立地適正化計画等の推進 N C C の形成を一層推進するため、オープンハウスの実施等を通して、N C C の考え方や必要性等について市民理解の促進を図ることができた。 ● 都心部まちづくりの推進 民間開発を促進する支援制度について、様々な場面で活用可能なガイドブックとして一体的にとりまとめた「宮の街ナカエキサイト」を公表した。

5 評価の総括

施策評価については、全施策が「概ね順調」以上となっており、後期基本計画の初年度として着実に施策が進捗している。

⇒ 今後、全ての施策が「順調」となることを目指し、取り組んでいく。

6 評価結果等の活用

評価の結果については、評価結果から得られた、各施策の進捗状況や課題を令和6年度総合計画実施計画の策定や、令和7年度予算編成等に活用し、後期基本計画を着実に推進していく。